

広報たかなべ

2018. 1. 26 NO. 410

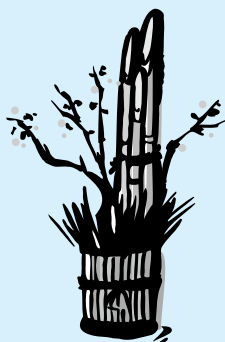


- ・新年のこあいさつ
- ・あなたの心健康ですか？
- ・～成人おめでとうございます～ 平成30年 高鍋町成人式
- ・平成30年高鍋町消防始式
- ・ママンマルシェ-TAKANABE-オープン！！
- ・MUKASA-HUB連携協定&記念イベント
- ・高鍋西中学校 チーム「タカミクション」第18回創造アイデアロボットコンテスト全国大会出場！！
- ・高鍋高校ラグビー部 7連覇で全国大会へ
- ・高鍋カンフー 九州大会優勝！！
- ・宝くじの助成金で整備されました
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

新年のごあいさつ

高鍋町長

黒木 敏之



新年明けましておめでとうございます。

夢と希望に満ちた新春を迎え、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、町長就任初年度であり、多くの皆さま方のお力添え、町議会議員のご支援、職員の努力もあり、企業誘致、ふるさと納税目標突破、子ども医療費無償化、町内施設のネーミングライツ、没後95年鈴木馬左也シンポジウム開催などの成果を生み出せました。

特に、南九州大学高鍋キャンパス跡地に宮崎キャノン株式会社様の工場を誘致できましたことは、大学跡地の問題が高鍋町最大の懸案でありましただけに、良いスタートを切れたと考えます。

また、株式会社デイリーマーム様に、「ゴボチ」の製造工場とともに高鍋町産の野菜や食品の販売場としてレストラン併設

のマママルシェ・TAKANABE-を俵橋地区に建設していただきました。補助金に頼らず、民間の力で、観光拠点としての「食と農の複合型施設」ができましたことに感謝しております。

2018年、時代は変化の真ただ中にあります。AI、IoT、EV、フィンテックなど、人口減少が進む中で、モノがインターネットにつながり、社会基盤、産業構造、世界経済は急激に変化を遂げ、私たちの生活や仕事を大きく変えようとしています。自然科学者・ダーウィンは著書「種の起源」の中で「最も強い者が生き残るのではなく、また最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である」と語っています。私たちもさらなる改革、革新を怠る訳にはいきません。

本年、高鍋町は、福祉の充実、企業誘致、中高一貫の教育改革、

農産品のブランド化、六次産業化、高鍋駅および蚊口海浜公園の再生、町立高鍋図書館の再生、高鍋温泉めいりんの湯の経営革新、高鍋城址の整備、街並み街路樹の整備、藩校明倫堂創設240年シンポジウムの開催、道路整備、町なか再生、起業家養成、観光イベントの充実など、そのほか、中長期的な計画を含め大胆な改革を推し進めながら、「豊かで美しい歴史と文教の城下町・高鍋の再生」に向けて取り組んでまいります。皆さま方の積極的なご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆さま方にとりまして幸多き年でありますことをご祈念申し上げます。



新年のごあいさつ

高鍋町議会議長
永友 良和



新年明けましておめでとうございます。

平成30年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまには、新たな抱負を胸に穏やかな新年をお迎えることとお喜び申し上げますとともに、平素から町議会に対し格別のご支援を賜っておりますことに、議員一同心よりお礼申し上げます。

昨年2月に町長選挙が執行され、黒木敏之町長が就任されました。また、7月には、記録的な大雨となる九州北部豪雨によって、人的被害や家屋などに甚大な被害が発生しました。本町の姉妹都市である福岡県朝倉市でも多くの方が被害に遭われ、亡くなられた方や今もお行方不明の方もおられます。お亡くなりになられた方に哀心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた皆さまに

心からお見舞い申し上げます。本町では、多くの方によるボランティアへの参加や、町民の方々からの義援金をお届けしたところでは、早期復興に向け、できる限りの支援をしてまいりたいと存じます。

さて、本町の人口は、昭和60年の23,239人をピークに減少し、人口減少、少子高齢化による社会保障制度の維持、町財政運営の維持など多方面に大きな影響を及ぼすことが懸念される中、本町では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った施策を積極的に推進しているところでございます。黒木町長は、人口減少と地域経済縮小の克服を目的とした町政を運営しており、今後の高鍋町の活性化、発展を期待するものであります。

私ども町議会議員は、その任期も一年足らずとなり、「町民の皆さまの目に見えるように」

との思いで、各種催しへの積極的な参加を始め、議会の活性化を図るべく特別委員会を設置し、議会基本条例、議員定数のあり方の調査・研究に取り組んでいるところでございます。

町議会といたしましては、町民の代表としてその責務と役割の重大さを深く自覚し、活発な議会活動を通じて、これまで高鍋町が築いてまいりました長い歴史に立ち、新たな船出に相応しい「町づくり」に取り組む決意でございます。

今後とも町民の皆さまのご支援とご指導をお願い申し上げますとともに、本年が穏やかな良い年になりますよう、皆さま方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



あなたの



健康ですか？

寒さも厳しくなるこれからの季節、体調を崩しやすいという方も多いのではないのでしょうか？

こころの面では、3月に向けて進学や異動、転居など生活環境の変化もあり、こころの調子に乱れが出やすい時期でもあります。

皆さんは、こころの健康を保っていますか？

ストレスチェック

こんな症状ありませんか？

ストレスにうまく対処できずにいると、心身に負担がかかり、こころや体、日常の行動に変化が現れることがあります。

体の症状

眠れない 眠り過ぎる 体がだるい 疲れやすい 頭痛がある
胃が痛む 便秘や下痢が続く 食欲が落ちる 体重が減る 月経が不順になる

こころの症状

やる気がおきない 憂鬱な気分がする 何も考えたくない 不安感がある 気分が落ち着かない
イライラする 頭がぼんやりする

こころを健康にするためには…



「からだ」をいたわり、心地よくすることが大切です。



十分な睡眠をとる

疲労やストレスで崩れた心身のバランスを回復させます。



ゆっくり入浴する

少しぬるめのお湯にのんびり浸かると、疲れた体とこころが癒されます。



ゆっくり休養をとる

時には思い切って仕事や家事を休みましょう！



栄養バランスの良い食事

3食しっかり取り、間食を控えましょう！



適度な運動

体を動かせば気分がリフレッシュします。



体内時計を整えましょう

インターネットやゲームなどでの夜更かしは良質な睡眠を妨げてしまいます！



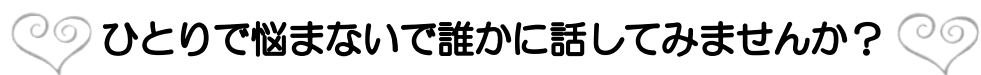
ストレスと上手に付き合うことも大切です。



話すことで楽になることもあります

家族や友人など親しい人との会話でストレスを和らげましょう。また、相談機関を利用することもできます。





こころの健康に関する相談は

相談窓口	電話番号	相談日・日時
宮崎県精神保健福祉センター こころの電話	0985-32-5566	月～金※ 午前9時～午後7時
宮崎県高鍋保健所	22-1330	月～金※ 午前8時30分～午後5時15分
高鍋町健康づくりセンター	23-2323	月～金※ 午前8時25分～午後5時10分

労働に関する相談は

相談内容	相談窓口	電話番号	相談日・日時
解雇・職場でのいじめなど	宮崎労働局 総合労働相談センター	0985-38-8821	月～金※ 午前8時30分～午後5時15分
働く人のこころの相談	独立行政法人労働者健康安全機構 宮崎産業保健総合支援センター	0985-62-2511	

※ 祝日、年末年始を除きます。

死にたいくらいつらい気持ちになったときの相談は

相談窓口	電話番号	相談日・日時
自殺防止電話 ライフネット宮崎	0985-28-2555	火・木・土 午後7時～11時
NPO法人国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター	0985-77-9090	月・水・金・日 午後8時～11時
自殺予防いのちの電話	0120-783-556	毎月10日 午前8時～翌朝8時

— 3月は、「自殺対策強化月間」です —

ワンストップ相談会（無料）※事前申し込みは不要です。

◆と き 3月3日（土）午前10時30分～午後4時 ※受け付け：午後3時30分まで

◆と ころ ハローワークプラザ宮崎（宮崎市大塚台西1丁目1-39）

法律 ・ 経済	宮崎県弁護士会	法律・経済の問題について、弁護士が相談に応じます。
	宮崎県司法書士会	多重債務問題を始めたさまざまな悩み事について、司法書士が相談に応じます。
健康 ・ こころ ・ 福祉	宮崎県看護協会	さまざまな健康上の問題、こころのトラブルについて、保健師が相談に応じます。
	宮崎県臨床心理士会	こころの健康について、臨床心理士が相談に応じます。
	宮崎県精神保健福祉士会	こころの保健と福祉について、精神保健福祉士が相談に応じます。
	宮崎自殺防止センター	死にたいほどつらい方に寄り添い、お話を聴きします。
その他	宮崎公共職業安定所 （ハローワーク宮崎）	職業相談や職業紹介など、就職についてのさまざまな相談に応じます。

【問い合わせ】宮崎県福祉保健課 地域福祉保健・自殺対策担当（Tel.0985-26-7075）



～成人おめでとうございます～

平成30年 高鍋町成人式



1月5日（金）、たかしんホール（高鍋町中央公民館）で平成30年高鍋町成人式が行われました。今年は、**165人**（男性**85人**、女性**80人**）が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

会場は、振り袖や紋付き袴、スーツに身を包み、久しぶりに会う友人と写真を撮ったり話に花を咲かせる新成人の笑顔で溢れていました。

厳粛に行われた式典では、新成人を代表して、黒木陽介さんが「これまで支えてくださった皆さまへの感謝を忘れず、これからは私たち一人一人が、それぞれの個性に合った形で社会に貢献できるよう、新成人としての自覚と責任を持ち、常に向上していきます」と感謝と決意の言葉を述べました。また祝宴では、小中学校時代の恩師らからのビデオメッセージが流れると、会場が大きな感動に包まれていました。



舞鶴一座 秋月鼓童の皆さんによる祝賀の催



高鍋手話サークルによる 成人式の司会進行を担当した（左から）森口翔さん、市島采華さん



お祝いの演奏を行った高鍋町消防団ラッパ隊



町民憲章を朗読した
奈須翔平さん



感謝の言葉を述べた
黒木陽介さん



成人代表で成人証書を授与された
（左から）橋英さん、谷口真希さん

成人式実行委員会メンバー紹介！

今年は新成人10人で実行委員会が結成されました。出席者全員が喜んでくれるような成人式にしたいと、恩師からのビデオメッセージやしおりなどを作成し、素晴らしい成人式を作り上げてくれました。

今回実行委員長を務めた橋英さんは式典後、「事前準備では、恩師からのビデオメッセージ作成が大変でしたが、皆さんが楽しんでくれるような式にしたいとの思いで頑張りました。これからは、新成人として責任ある行動と親も含めて周りの人に感謝できるような人になりたいです」と笑顔で話してくれました。実行委員の皆さん、お疲れ様でした！



（後列左から）黒木陽介さん、森口翔さん、奈須翔平さん
（前列左から）市島采華さん、黒木菜実さん、谷口真希さん、橋英さん、大木場真子さん、黒岩奈央さん、荒武薫香さん